

令和7年1月28日
市街地整備課

緑町土砂災害に関する矢田部先生との打合せ（速報）

日 時：令和7年1月28日（火） 13:30～15:00

場 所：第一コンサルタント

参加者：矢田部龍一先生

河合参与、井手副部長、渡邊課長、一色専門官、
金浦主幹、岡田主幹、西本副主幹

説明資料：検討委員会報告書（案）

矢田部先生のコメント

【検討委員会報告書（案）について】

- 災害発生メカニズムが、斜面変形（クリープ的変形）と 土砂流出、
土砂流下を切り分けてまとめているのは、わかり易く、説明できている。
- 基礎的要因が15ページに、災害の原因が16ページにまとめられている。
- 7月12日の災害に関する部分は、土砂流出と 土砂流下。

【緊急車両用道路の影響について】

- 斜面変形を否定することは難しいが、
仮に道路盛土などがクリープ的変形に影響を与えたとしても、
(災害発生後も)道路は残っているし、
土砂流出では道路が関連した可能性は低いとされているから、
(災害発生に対する)影響はないと言えるのではないか。
- 変状と崩壊は違うことは、きちんと説明する必要がある。
- 緊急車両用道路の影響については、委員会報告書をもう少し確認してみる。

【緊急車両用道路の設計・施工の妥当性について】

- 設計や施工のチェックは、まず市が責任を持って行う必要がある。
- もう一度、別のコンサルで設計してみてはどうか。
- 設計はマニュアルで決まっている。根拠資料を見直すことは必要。
- 道路構造令だけではなく、林道の基準を適用する考えはOK。